

東京大学医科学研究所倫理審査委員会第一委員会 平成30年度第6回議事要旨

日時：平成30年10月1日（月）15：00～15：45
場所：1号館2階 2-1会議室
出席者：古川委員長
水本、鎮目、小池、佐々、大津、高橋、井上（純）、岩間、渋谷、稲生、井上（悠）
の各委員
欠席者：なし
陪席者：神里研究倫理支援室准教授、
上原研究支援課長、研究推進チーム鶴岡係長、木村一般職員、菅原一般職員

（議事）

1. 倫理審査申請書の審査について

（1）30-51 「間葉系細胞を用いた骨・軟骨再生医療を目指した基盤研究」（新規）

（申請者：セルプロセッシング・輸血部・部長/准教授・長村 登紀子）

申請者である長村 登紀子 准教授から、本件の申請内容について説明があった。次いで、先行する研究の終了後に研究実施がされていないかの確認、バンクが継続されているかどうかの確認、研究方法、バンクの同意書、共同研究機関の倫理申請状況等について質疑応答が行われた。審議の結果、以下の点を修正することを条件に承認することとした。

① 申請書について、以下の箇所を修正すること。

- ・「2. 目的・意義、研究の科学的合理性」について、新規の申請であることが明確になるように記載を修正すること。
- ・「5. 1) (1) 対象者」について、「健康な人」の人数を正しく修正すること。

② 研究継続状況や研究期間の点で、本申請と共同研究機関での申請との内容に矛盾がないかどうか確認し、必要に応じて共同研究機関に研究計画の修正等を依頼すること。

（2）26-65 「インフルエンザに対する感受性に関わる宿主因子の同定」（変更）

（申請者：ウイルス感染分野・教授・河岡 義裕）

研究分担者である岩附 研子 助教から、本件の変更内容について説明があった。次いで、共同研究機関へ送付する検体の選択方針、共同研究機関の倫理申請状況、研究方法、情報公開等について質疑応答が行われた。審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これを承認することとした。

2. 修正の報告

委員長から、以下の申請について委員会指摘事項に対する修正の承認について説明があり、了承された。

・26-48（変更）

「オーダーメイド医療の実現プログラムにおける生体試料バンクの構築」

（申請者：人癌病因遺伝子分野・教授・村上 善則）

・29-74（変更）

「バイオバンク・ジャパンの運営・管理と個別化医療の実現に向けた疾患バイオマーカー探索」

（申請者：人癌病因遺伝子分野・教授・村上 善則）

- ・ 30-39
「胃病変に対する遺伝子解析による、ヘリコバクター・ピロリ菌感染者の予後関連因子の探索」
(申請者：シーケンス技術開発分野・助教・谷川 千津)
- ・ 26-112 (変更)
「血液疾患のゲノム解析研究」
(申請者：血液腫瘍内科／分子療法分野・教授・東條 有伸)

3. 迅速審査の報告

委員長から、以下の申請について迅速審査により承認された旨説明があり、了承された。

- ・ 27-37 (変更)
「個別化医療開発のための稀少腫瘍・難治性腫瘍の遺伝子解析研究」
(申請者：臨床ゲノム腫瘍学分野・教授・古川 洋一)
- ・ 30-37
「HIV感染者における性感染症（A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、梅毒等）の合併率と罹患に影響を及ぼす因子の研究」
(申請者：感染症分野・教授・四柳 宏)
- ・ 27-33 (変更)
「循環血中循環腫瘍細胞を用いたがんの悪性形質に関与する新規診断マーカー開発」
(申請者：分子療法分野・特任研究員・谷口 博昭)

4. 前回（平成30年度第5回）議事要旨の内容について承認した。

以 上